

病防第527号

平成13年3月30日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イグサシンムシガ越冬調査結果について（送付）

このことについて、平成13年の調査結果を別紙のとおり取りまとめましたので送付致します。

記

本年の越冬世代（4月）の蛾の発生量は、平年に比べ多く、発生時期は平年並と予想されます。

発蛾最盛日は別紙のとおりですが、八代・宇城地域では4月13日～16日頃、球磨地域では4月22日頃になると予想されました。

しかし、調査ほ場での越冬幼虫の齢期を見ると、平年よりも齢期が進んでいると思われたので、発蛾最盛予想日より早くなることも考えられます。また、発蛾最盛期は、今後の気温の上下により多少変化することが予想されますし、地域による発生時期のバラツキが大きいので、ほ場をよく観察し、蛾の一番多い時期を確認しながら防除指導の徹底をお願いします。

防除については、発蛾最盛日を中心に7日間隔で2～3回の防除が必要です。

なお4月の防除を徹底することにより第一世代（6月）、第二世代（7月）の発生を低下させ、被害を防止しますので4月の防除は必ず徹底するよう御指導方よろしく願います。

防除に当たっては県の防除基準にしたがい、散布時には農薬安全使用につとめ、魚毒等、危被害を起こさないように注意しましょう。

イグサシンムシガ越冬調査 八代地区 （調査日：平成13年3月23日）

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	幼虫+蛹数	茎数/株
1	八代市	竜峯	100	15	8	0	8	49.4
2		西片町	100	7	4	0	4	35.4
3		共栄	100	5	0	0	0	51.6
4		群築二番町	100	2	1	0	1	28.2

5		群築五番町	100	4	1	0	1	40.2
6		群築九番町	100	3	0	0	0	53.2
7		古閑浜町	100	5	1	0	1	52.0
8		沖町	100	4	1	0	1	37.2
9		松崎町	100	3	2	0	2	48.8
10		北平和町	100	6	0	0	0	57.0
11		南平和町	100	8	3	3	6	62.2
12		鼠蔵町①	100	20	6	6	12	40.0
13		鼠蔵町②	100	5	2	0	2	56.6
14		鼠蔵町③	100	3	1	0	1	53.8
15		高植本町	100	18	8	3	11	21.4
16		催合町①	100	5	5	0	5	61.8
17		催合町②	100	7	3	0	3	35.2
18		催合町③	100	9	3	0	3	46.0
19		新開町	100	5	4	0	4	37.0
20	鏡町	野崎	100	12	12	0	12	31.4
21		芝口	100	13	8	2	10	47.4
22		上鏡	100	1	1	0	1	49.0
23		北新地（東区）	100	36	23	1	24	27.8
24		北新地（中区）	100	9	0	0	0	32.6
25		北新地（港区）	100	4	1	0	1	12.6
26		宝出	100	9	4	0	4	17.8
27		有佐	100	23	5	3	8	34.8
28		中島	100	13	6	0	6	41.4
29	竜北町	若洲	100	2	1	0	1	44.4

30		西網道	100	5	2	0	2	42.8
31		南鹿野	100	7	2	1	3	33.8
32		柳の江	100	21	11	2	13	46.6
33		野津	100	12	3	2	5	48.0
34	千丁町	八代新地①	100	16	10	0	10	26.8
35		八代新地②	100	10	1	0	1	49.2
36		西牟田	100	5	1	0	1	29.6
37		新牟田	100	10	4	0	4	32.6
	計		3700	342	148	23	171	41.0
	調査区以外				63	10	73	
	総計				211	33	244	
	蛹化率				13.5%			
	発蛾最盛期			4月	16.0日			

イグサシムシガ越冬調査 宇城地区 (調査日：平成13年3月23日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	幼虫+蛹数	茎数/株
1	松橋町	浦川内	100	6	5	2	7	25.2
2		豊福	100	9	3	1	4	25.6
3		沖塘	100	11	4	4	8	29.4
4	小川町	上住吉	100	3	2	0	2	33.2
5		下住吉	100	6	3	1	4	46.6
6		河江	100	4	3	0	3	49.2
	計		600	39	20	8	28	34.9
	調査区以外				0	0	0	
	総計				20	8	28	
	蛹化率				28.6%			
	発蛾最盛期			4月	13.0日			

イグサシムシガ越冬調査 球磨地区 (調査日：平成13年3月29日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	幼虫+蛹数	茎数/株
1	免田町	下乙	100	3	1	0	1	67.2
2	深田村	庄屋	100	1	1	0	1	41.4
3		別府	100	2	2	0	2	47.6
4		永岡①	100	2	0	0	0	48.4
5	岡原村	永岡②	100	7	3	0	3	69.0
6		熊野	100	9	2	3	5	33.0
7		福留①	100	2	1	0	1	55.4
8		福留②	100	5	3	0	3	44.8
9		桧山	100	7	5	0	5	42.0
10	湯前町	上里	100	3	0	0	0	21.8
	計		1000	41	18	3	21	47.1
	調査区以外				22	4	26	
	総計				40	7	47	
	蛹化率				14.9%			
	発蛾最盛期			4月	21.7日			

注 「蛹化率」 = 「蛹数」 ÷ (「幼虫数」 + 「蛹数」) × 100

「発蛾最盛日」 = 「50%蛹化日」 + 16.7日 (蛹期間の平均気温が18℃の場合)

「50%蛹化日」 = (50% - 調査日の蛹化率) ÷ 「蛹化の増加率」 + 調査日 - 31日

「蛹化の増加率」 = 5% (1日平均)